

自然なすがた

No.	個別指標	調査項目	【5】 人為的な影響がなく、自然な姿を維持している河川	←→	【4】 やや人為的な影響を受けている河川	←→	【3】 人工的で人為的影響の大きい河川	得点	備考（判定理由等）
1	水量の状況	流速・川幅に対する水面幅の比（平均）・水深（最	十分な流れがある	←→	流れがある	←→	流れはほとんどない		
2	自然流量の割合	排水等の混入の割合	下水処理水等の排水の流入がほとんど無い	←→	下水処理水の流入が少ない	←→	ある程度の下水処理水の流入		
3	護岸の状況	護岸の状況	自然的な護岸である	←→	親水護岸または自然石の石積み護岸である	←→	工夫の無いコンクリート護岸である		
4	魚など生物の移動障害	生物の移動障害（高さ）・魚道の有無等	障害物がない、または移動障害に環境配慮した魚道が整備されている	←→	移動障害に魚道が設置されており生態系に影響は少ない	←→	魚道が無く生息魚の移動が難しい		
5	流域外からの流入流出量	流域外からの流入流出量	流入、流出ともにほとんど無い	←→	流入、流出は少しはある	←→	流入や流出はあるが、河川への影響は少ない 流入や流出はない 流出かある		
【特記事項】								平均点	

水のきれいさ

No.	個別指標	調査項目	【5】 安全できれいで水道用水や水浴などに適する水	【4】 ←→	【3】 水遊び等が可能な水	【2】 ←→	【1】 利用しにくい水	得点	備考（判定理由・測定方法・データ根拠等）
1	COD または BOD	CODまたはBOD	1mg/L以下	3mg/L以下	5mg/L以下	10mg/L以下	10mg/Lを超える		
2	透視度	透視度	100cm以上	←→	50cm以上70cm未満	←→	30cm未満		
3	ふん便性大腸菌群数	ふん便性大腸菌群数データ	2個/100mL以下	←→	400個/100 mL以下	←→	1000個/100mLを超える		
4	アンモニア	NH ₄ -N	0.1mg/L以下	0.3mg/L以下	1.0mg/L以下	2.0mg/L以下	2.0mg/Lを超える		
5	臭気	水のおい	臭いを感じない	←→	気になる臭いを感じない	←→	いやな臭いが強い		
6	溶存酸素	DO	7.5mg/L以上	6.0mg/L以上	5.0mg/L以上	2.0mg/L以上	2.0mg/L未満		
【特記事項】								平均点	

No.	個別指標	調査項目	【5】 生物が豊かな水環境	【4】 生物が生息できる水環境	【3】 生物が生息しにくい水環境	【2】 生物が生息しにくい水環境	【1】 生物が生息しにくい水環境	得点	備考（判定理由等）
1	川の周囲のすみ場	川の周囲のすみ場	多くの多様なすみ場が存在している	複数の種類のすみ場がところどころにある	人工物ばかりですみ場は存在していない				
2	川原・水際の状況	水生植物および水辺の植物（沈水、抽水、川原及び水際線）	水辺または水中に植物が多種、連続的に繁茂している	水辺または水中のところに数種の植物を確認できる。または植物の種類が単調である	水辺にも水中にも植物は存在していない				
3	鳥類・小動物等のすみ場、生息状況	鳥類・小動物等のすみ場、生息状況	鳥類等のすみ場が多数存在する。または、多数の鳥類を確認できる	鳥類等のすみ場が複数存在する。または、複数の鳥類を確認できる	鳥類のすみ場が無い。または、鳥類を確認できない				
4	魚類のすみ場、生息状況	魚類のすみ場、生息状況	魚類のすみ場が多数存在する。または多くの魚種を確認できる。	魚類のすみ場が複数存在する。複数の魚種を確認できる	魚類のすみ場が無い。魚類を確認できない				
5	川底の様子と底生生物	川底の様子	川底に浮き石があり、うっすら褐色の藻類（主にケイ藻）がついている	川底の石の表面に藻類が繁殖し、ぬるぬるしている	川底の石の裏が黒くなっていたり、川底が泥で黒くなり腐敗臭がする				
5'		底生生物（指標生物）	きれいな水に生息する指標生物が多く生息	少しきたない水に生息する指標生物が多く生息	き た な い 水 に 大 変 き た な い 水 に 生 息 す 生 息 す 指 標 生 物 が				
【特記事項】							平均点		

快適な水辺

No.	個別指標	調査項目	【5】 水浴、水遊び、散策等の活動が楽しめ、安らぎを感じる水辺	【4】 活動が楽しめる水辺空間	【3】 視点場によっては場にそぐわない面も感じられるが、全体として、違和感のない風景と評価できる	【2】 川面に大量のごみか浮遊している、あるいは河床・河川敷に多くのごみの投棄がみられ、不快に感じる	【1】 いずれの視点場においても違和感が大きく、場としての川らしさが感じられない風景である	得点	備考（判定理由等）
1	水辺景観（感性）	周辺環境との合致した水辺風景	流軸景、対岸景および俯瞰景のいずれにおいても、違和感のないおさまりを感じ、潤い豊かな風景と評価できる	←→	視点場によっては場にそぐわない面も感じられるが、全体として、違和感のない風景と評価できる	←→	いずれの視点場においても違和感が大きく、場としての川らしさが感じられない風景である		
2	ごみの散乱（視覚）	水面や水辺のごみの状況	川面の浮遊ごみや、河床・河川敷の投棄ごみなど、ほとんどみあたらず、きれいである	←→	川面の浮遊ごみ、あるいは河床・河川敷の投棄ごみが、ところどころに目に付き、多少気になる程度である	←→	川面に大量のごみか浮遊している、あるいは河床・河川敷に多くのごみの投棄がみられ、不快に感じる		
3	水との触れ合い（触覚）	肌で触れての心地よさ	水に触れて心地よいと感じられ、触れてみたい気分となる	←→	水に肌で触れるのが、不快で気持ちが悪いとまでは感じられないものの、積極的に触れ合う気持ちにはならない程度	←→	水に入ったり、手で触れたりすることが、不快で気持ちが悪く感じられる		
4	川の薫り（嗅覚）	川の周囲を含めた薫り	心地よい薫りを感じる	←→	気になるにおいを感じない	←→	不快なにおいを感じる		
5	川の音（聴覚）	川の音、周囲から影響のある音	心地よい音を感じる	←→	気になる音を感じない	←→	不快な音を感じる		
【特記事項】								平均点	

地域とのつながり

No	個別指標	調査項目	【5】 地域とのつながりが強い	【4】 ←→	【3】 地域とのつながりがある	【2】 ←→	【1】 地域とのつながりがまったくない	得点	備考（判定理由等）
1	歴史的・文化的な地域資源	有形資源、無形資源の存在とかわり	多くの資源が、よく知られ、利用され、保存、継承されている	←→	資源が一部の人だけに知られ、一部利用され、ある程度、保存、継承されている	←→	資源がない		
2	水辺への近づきやすさ	水辺に近づけるか、水に触れられるか	水辺に容易に近づける。水に入れる、触れられる	←→	水に近づくことが困難	水辺に近づくことができない	水辺をみることができない		
3	日常住民利用	散策、レジャー、スポーツなどへの利用状況	多くの人に、多目的で、よく利用されている	←→	一部の人々に、少数の目的で、時々あるいは一時期だけ利用されている	←→	全く利用されていない		
4	産業活動	観光、経済活動、利水などへの利用状況	多くの目的で、よく利用されている	←→	少数の目的で、利用されている	←→	全く利用されていない		
5	環境活動	環境保全活動、環境学習等の川を対象とする地域活動状況	多くの団体により、多くの人々が活動が継続的・活発に行われている	←→	少数の団体により、時々あるいは一時的に活動が行われている	←→	全く活動がない		
参考	治水上の安全性	治水に対する整備の進捗状況	堤防、浸水対策が整備済みである	←→	一部、未整備のところがある	←→	全く整備されていない		
【特記事項】								平均点	